

2026 年 10 月 16 日
一般社団法人 日本造船工業会

JECK 造船首脳会議の開催について

～造船主要 4 極の首脳会議に米国とインドが参加～

2026 年 10 月 15 日、日本（J）、欧州（E）、中国（C）、韓国（K）の主要造船会社・団体の首脳が年に一度、一堂に会し、造船市況や造船業を取り巻く諸問題等について討議する JECK 造船首脳会議の第 32 回会合が、欧州造船団体ユーロヤーズの主催により、スペイン・カディスで開催されました。会議には、日本造船工業会、ユーロヤーズ、中国船舶工業行業協会、韓国造船海洋プラント協会の首脳陣に加え、今回ゲストとして米国とインドからも参加し、合計 101 名が出席しました。

基調演説では、檜垣会長から、いくつかの国・地域で造船業が経済安全保障に関わる重要産業として位置付けられ、その再建・強化を図る動きが広がっている状況が紹介されました。また、現在の新造船市場は堅調に推移する一方で、受注や手持ち工事量の特定国への集中が進んでいることを指摘し、業界首脳が率直に意見を交わし、市場動向について共通認識を構築することの重要性を強調しました。

会議では、各極の造船業の活動状況について報告が行われたほか、船種別の市況動向について現状と今後の見通しが紹介されました。また、今回は地政学的な情勢が海運・造船業に及ぼす影響を議論するセッションが設けられたほか、米国とインドからは両国の造船業の現状等についてのプレゼンテーションが行われました。



基調演説をする檜垣会長

会議の最後に、造船業が海上貿易や強靱なサプライチェーン、経済安全保障を支える重要な産業であることを確認するとともに、地政学的リスクの高まりへの認識を共有した議長声明が採択されました。また、国際海運の脱炭素化をはじめとする IMO の取り組みに世界の造船業が引き続き貢献していくことを確認しました。

次回 JECK 造船首脳会議の第 33 回会合は、中国が主催し、2027 年 10 月 27 日から 29 日の日程で、中国・広州で開催されます。



JECKに参加した檜垣会長ほか日本造船工業会関係者



集合写真

本件に関するお問い合わせ先
 一般社団法人 日本造船工業会
 企画部 鈴木 TEL: 03-3580-1563